Helen Storrow Seminar 2018

ヘレン・ストロー セミナー2018 ニュースレター

【開催地】アワシャレー（スイス）【開催年】2018 【日程】2月1日～2月7日
【参加者】30加盟連盟　42名　【対象】18歳～25歳のガールスカウト

埼玉県第7団　山田真子
奈良県第51団　河村幸音

ヘレン・ストロー セミナー
～Leading Change for a Sustainable Future～

今回私たち2人が派遣されたヘレン・ストロー セミナーは、WAGGGSがスイスにあるワールドセンターの一つ、アワシャレーで開催しているセミナーです。アルプスの大自然の中での体験活動を通して、若い世代が自身のコミュニティにおける環境問題への意識を高め、具体的な行動を起こすための機会です。

2018年のセミナーの大きな柱となるのは、「リーダーシップ」「環境」「チェンジ」という3つのキーワードです。6日間のセミナーを通して、それぞれのキーワードに着目したプログラムがあり（下の表、背景が黄色:リーダーシップ、緑色:環境、ピンク:チェンジ）、環境問題に関して変化をもたらすには人々にどのように働きかける必要があるかを学ぶことができました。どのプログラムも大変面白く、私たちにとって刺激的なものばかりでした。全体を通して、絵で表現する、歌を作る、グループで発表するなど、想像力や積極性が求められるものが多かったです。そして何かを発表するときはいつも、世界中から集まったメンバーの笑顔が絶えませんでした。楽しい活動の中に大きな学びがありました。

このセミナーに参加して得られるものは、環境問題に対する高いモチベーションや、世界中から集まったガールガイド・ガールスカウトとのつながりです。各自が所属するコミュニティに対して良い影響を与えられるような、独自のプロジェクト計画を持ち帰りました。そのプロジェクトを実行し、世界連盟に半年後に報告することを約束して帰国しました。私たち2人が計画した日本で実行するプロジェクトについては、4ページ目に詳しく載っています。このニュースレターで、私たちのこれまでの人生で最も国際的だった一週間をご報告します。

インターナショナルナイトの様子

SDGsのアイコンを使った写真コンテストがありました

日程表

	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日
8:00-9:00	到着	朝食					
セッション1		開会式 導入セッション	世界のリアルな環境問題	スイスアルプスでそり遊び！1	アデルボーデンの街探検	自分の計画を詰める時間1	パトロール内フィードバック
10:30-11:00		午前休憩					
セッション2		リーダーシップの基本を学ぼう	素敵な自然を見つけよう	スイスアルプスでそり遊び！2	帰り道に環境トーク	変化を起こすための準備	計画最終仕上げ
12:30-14:30		昼食休憩					
セッション3		パトロールでかまくら作り	持続可能な環境を考えよう	自分の物語をシェアしよう1	あなたの計画をデザインしよう	サポーターを得よう	自然へのラブレターを書こう
16:00-16:30		午後休憩					
セッション4	リーダーシップ 環境 チェンジ	自分の物語を書いてみよう	SDGsの理解を深めよう	自分の物語をシェアしよう2	過去参加者に話を聞こう	自分の計画を詰める時間2	アンケート、提出物の確認
18:00-19:30	夕食	夕食休憩					
夜プログラム	アイスブレイク	ガールスカウトクイズ大会！	スイスナイト	キャンプファイアー	インターナショナルナイト	自由時間	閉会式 解散パーティー

印象深かったプログラムを紹介！→

開会式

　アワシャレーには、開会式で行う伝統の儀式があります。アワシャレーに来た人限定のピンの授与と、参加者全員の出身国の小さな国旗を丸太に立てることです。自分がアワシャレーに来たことを実感し、これから始まる一週間への期待が高まりました。

印象に残ったプログラムはこれ！

　今回のセミナーの柱は「リーダーシップ」「環境」「チェンジ」。楽しいプログラムを通してリーダーシップのさまざまな捉え方を学び、SDGsの観点から世界の環境問題について考えました。人々の中心になって変化を起こすために、自分にはどんな力が必要かということが具体的に見えてきました。ここでは、私たちの印象に残っているプログラムをご紹介します。

My Story, Our Stories

　これまでの自分の人生を、リーダーシップをテーマに1つの物語にしました。そして、みんなで円になって数人がシェアしました。一週間を共に過ごす仲間の背景を知ることで親近感や尊敬する気持ちが生まれ、さらに心の距離が近づいたと思います。

ガールスカウトであるというだけで、世界中から人が集まってきます。一週間という短い期間ではありましたが、とても仲良くなりました。魅力にあふれた人ばかりです。

自然の中で考えるSDGs

　個人個人で、アワシャレーの自然の中からお気に入りの場所を見つけました。その場所で静かに自分の時間を過ごしました。4日後に再度訪れて、その自然へのラブレターを書きました。自然を守るために自分ができることを考える機会になりました。

スイスナイト

　せっかくスイスに来たんだから、この国のことをもっと知らなきゃもったいない！
スイスの山岳地帯の伝統楽器、スイスホルンのパフォーマンスがとても素晴らしかったです。スイスに関するクイズは少々マニアックで、しばしば笑いが起こりました。

そり遊びに挑戦

　Sledging　（スレッジング）と呼ばれるそり遊びを体験しました。スキー場までの40分の徒歩移動、寒さ、速さなど自分への挑戦の時間でした。人生で初めて雪を見たメンバーもいて、それぞれの形で楽しみました。そりは木製でお尻が痛かったです。

キャンプファイアー

　これまで体験した中で一番国際色豊かなキャンプファイアーでした。知らない言葉のソングを見よう見まねで楽しみ、最後にはエーデルワイスを合唱しました。私たちが紹介した日本の三ツ矢サイダーの歌は、最後の「シュワ～」が印象的だったようです。

プログラムはまだまだ続く！→

スカベンジャーハンター

アワシャレーやアデルボーデンの町で、地図を見ながら環境問題に関する指示書を見つけて課題に取り組みました。各国の状況をみんなで考えたり、過去の実例からリーダーシップの取り方を学んだり、今後につながるヒントを得ることができました。

サポーターを得よう

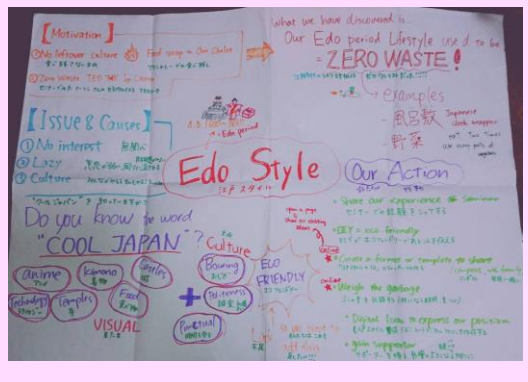
プロジェクトのサポートを依頼する練習をしました。アワシャレー内のどこかにいる社長、市長、秘書などに扮したファシリテーターを探し出し、事前に考えたアピール方法で自分たちのプロジェクトを必死に説明しました。本気の演技に驚きでした。

インターナショナルナイト

５つの地域ごとにプレゼンテーションをした後、ブースに分かれて名産品・スワップ品の交換をしました。参加者がとても楽しみにしているプログラムの一つなだけあって、伝統的なダンスやスタンツの披露中、歓声が止むことなく、とても盛り上がりました。私たちは浴衣を着て風呂敷包みを披露しました。
日本文化に興味関心がある姉妹たちが多く、持参したお菓子やスワップ品はあっという間になくなり嬉しかったです。ほかにもアラビア語が書いてある珍しいバッジや、コアラのキーホルダー、漢字の当て字、スパイスの効いたお菓子などいろんなものが飛び交い、各国が工夫を凝らした紹介をしていました。各国の魅力や文化を感じることのできた、充実した貴重な時間でした。

私たちのプロジェクト計画

今回のテーマである環境問題に対して、私たちはどんな問題を抱えていて、どんな変化を起こせるのか、具体的な計画を考えました。セミナー中さまざまな国の参加者と話し合う中で、日本の文化の中では周りと一緒なら行動を起こせても、一人だとなかなか踏み出せず、また環境問題などの世界共通の課題については、自分とは距離が遠い問題だと感じがちであると思いました。また、小学生の頃に環境問題について真剣に考える授業があっても、年齢があがるにつれ危機感が薄れていくように感じました。このことから、SDGsの中でも「12.つくる責任 つかう責任」という「責任」に焦点を当て、プロジェクトを計画することにしました。目指すビジョンを考え、問題点を掘り下げ、どんな方法で、いつまでに取り組むかを考えました。このプロジェクト計画を考えている最中、自分たちからちょっとずつ周りを変えられる、変化を起こしていけることへの期待でいっぱいで、とてもワクワクしていました！



閉会式

中央にあるろうそくに火を灯し、自分にとってのヘレン・ストロー セミナーを一言で述べました。”Friendship” “Life Changing Experience”など素敵な言葉が述べられていく中で、だんだんとトレフォイルが浮かび上がりとても感動的な時間でした。

～番外編～
プログラム以外にも、セミナー中には素敵な取り組みがたくさんおこなわれていました。その一つを紹介します。

Warm Fuzzies

アワシャレーに到着後、小さな箱を折りました。それぞれの箱には参加者の名前が書いてあります。セミナー終了までに魅力、感謝、激励など心が温かくなる言葉を相手に送ります。素敵な贈り物をいただきました！

最後に2人から伝えたいこと→

海外派遣を終えてみんなに伝えたいこと

セミナー中、私たちが感じた喜びや、複雑な思いを伝えます！

【世界と繋がっている】

時々、みんなが世界中から集まっているという目の前の状況の凄さに改めて驚いて、信じられなくなってしまうことがありました。各国の代表として参加するセミナーは、まるで小さな世界のようでした。世界と繋がっている私は「世界にいる1人」なんだと実感できた瞬間でした。世界中にメンバーがいるガールスカウトのイベントならではの感覚だと思います。

【日本の文化を再認識】

世界中の姉妹たちは日本人の私たちにとって新鮮に感じる文化がたくさんありました。自分の意見をみんなと共有するのを怖がらずに述べる姿は、自分の意志や思いを表現していて素直にかっこいいと思いました。その場の空気や雰囲気を大切にする日本の文化との違いを感じ、このようになりたいと思う反面日本の文化のいいところも再認識しました。

【自分の魅力を発揮できない悔しさ】

伝えたい思いや考えは頭の中にあるのに、英語にならない、伝えられないことのもどかしさや悔しさを強く感じました。能力や魅力はそれぞれ持っているのに、発揮するためには言葉が必要で、「あなたが持っている能力や魅力の半分は、英語のせいで私は見ることができなかった」とメンターの方に言われた時は衝撃的でした。セミナーを通して忘れられない一言になりました。

さまざまなことを書きましたが、セミナーに参加したからこそ上記のような発見があり、今までに感じたことのなかった思いを痛感することができました。ここで私たちが一番伝えたいことは、まだ海外派遣に参加したことがない人はとにかく一回挑戦してみてほしいということです。「百聞は一見に如かず」です！

感想

奈良県 第51団　河村幸音

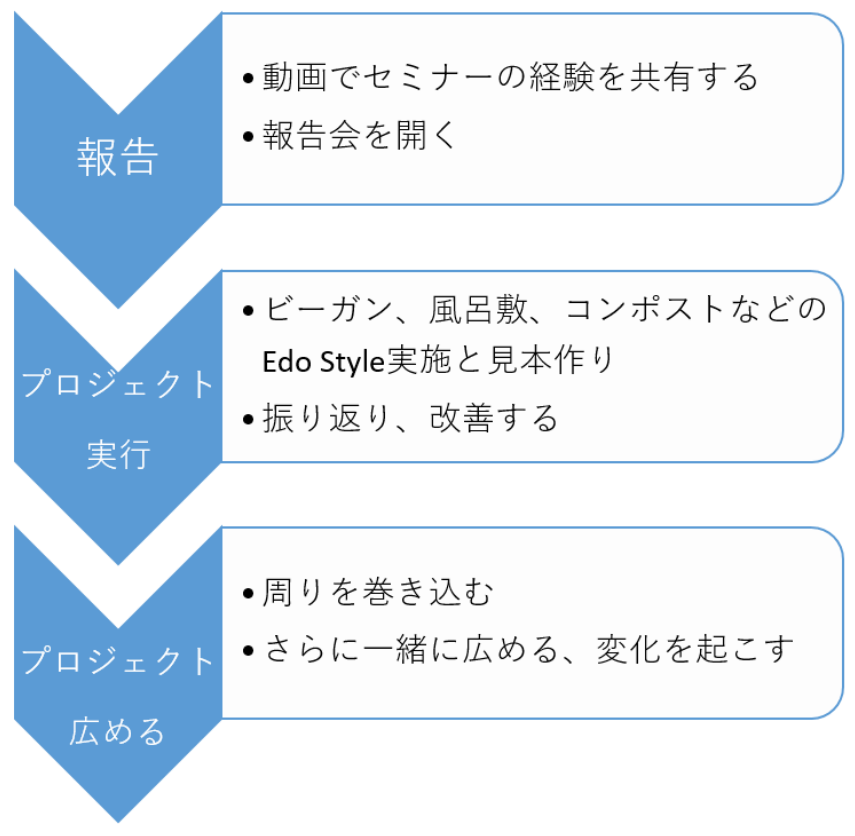
夢のワールドセンター、WAGGGSイベントへの参加、とても刺激的で素晴らしい1週間でした。空港からトラムを乗り間違えて逆方向に行ってしまった時、ビーガンの生活を初めて見た時、メンターからの言葉に涙した時、さまざまな瞬間を今でも鮮明に覚えています。各国の問題について生の声を聞いたこの1週間で、環境への意識は大きく変わったと実感しています。環境問題について、特に日本では個人レベルの取り組みがまだまだだなと思いました。プロジェクトの計画という最終目的をしっかり果たせるプログラムや、WAGGGSスタッフのファシリテーションの仕方を見て、私もいつかイベントのファシリテーターになりたいと思いました。そういう意味でこのセミナーは自分の過去、現在、未来をつなげて考える機会になりました。あの場にいた世界中のガールスカウトとのつながりを一生大切にします。たくさんのご支援ありがとうございました。

埼玉県 第７団　山田真子

私がヘレン・ストローセミナーに参加する前に掲げた目標は2つあり、1.環境問題とその対策が世界とはどう違うのか学ぶこと、2.世界のガールガイド・ガールスカウトの考え方や文化の違いを肌で感じることでした。実際にセミナーに参加して、各国で直面している問題は異なり、公衆衛生の整っていない国、行政のごみ回収システムが無い国など、抱えている問題はさまざまでした。想像もつかなかった問題が多く、実体験として語られるととても現実的で衝撃的でした。また、何事にも(ゲームも)本気で取り組み、喜び悔しがる姿と真剣さに驚き、私も見習いたいと思いました。目標を達成したと思えた以上に、感想には書ききれないほど多くの学びと刺激を得ることのできたこのセミナーは、私にとって大きな転機になると確信しています。ここで感じた熱い思いや悔しい思いを今後も持続させていきたいと思います。貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

今後の予定

私たちは、Edo Style（江戸スタイル）というプロジェクトを考えました。

セミナー前にごみ問題と風呂敷という観点から、各々環境問題について注目していました。アワシャレー内で各国の姉妹たちと食事をした時に、自らお皿に取り分けた食べ物を平気で残す光景を見て、なぜ責任を持って食べきらないのかと、私たちは違和感を感じました。この食べ物に対する意識の違いをきっかけに、私たちにはものを大切に思う気持ち「もったいない精神」が存在するのではないかと考えました。恵方巻きなどのフードロスが問題視されるのもこの精神があるからだと思います。そこで、特にごみが無かった(Zero Waste)と言われる江戸時代の知恵は、現代の生活にも生かせる部分があるのではないかと考えました。時代や環境の変化があること、知恵を知らないこと、とっつきにくさに原因があると感じました。そのため、SDGsの中で「12.つくる責任 つかう責任」に焦点を当て、プロジェクトを計画することにしました。私たちは江戸時代の知恵を取り入れた生活スタイル、”Edo Style”を提唱します。江戸時代の知恵を現代風にアレンジしたり、付け加えたりすることで、みんながEdo Styleに挑戦してみたい、そう思ってもらえるようなプロジェクトを企画していくつもりです。

具体的には、まず江戸時代の知恵を集めます。現在私たちが持っている知恵は、野菜のヘタの再利用、コンポストの活用、風呂敷、マイ箸、食生活改革などです。次にその知恵の実施に難しさは無いか、誰もが取り組めるものか、私たちが実行に移して確かめます。今、この段階にいます。そして、今後は皆さんが簡単かつワクワクしてEdo Styleに取り組んでもらえるような見本書と仕掛け作りをしていこうと思っています。将来的には、このEdo Styleを流行らせ、変化を起こしていきたいと考えています。プロジェクトの詳細についてはここに全部書くことができませんが、近々ご報告します！